

(様式第4号)

上田市国民健康保険運営協議会 会議概要

- | | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 審議会名 | 第1回上田市国民健康保険運営協議会 |
| 2 | 日時 | 令和元年10月3日(木) 午後1時30分から午後3時まで |
| 3 | 会場 | 上田駅前パレオビル2階会議室 |
| 4 | 出席者 | 田畑裕康会長、森田靖子副会長、山寺高太郎委員、尾澤圭子委員、大久保秀子委員、岸秀幸委員、合葉雅彦委員、千葉康浩委員、北村康史委員、近藤久代委員、宮尾秀子委員、渋沢俊道委員、浅倉俊樹委員、宮岸喜恵子委員 |
| 5 | 市側出席者 | 小林健康こども未来部長、春原国保年金課長、小林収納管理課長
下村丸子市民サービス課長、杉山真田市民サービス課長、佐藤武石市民サービス課長
朝日国民健康保険担当係長、前沢国民健康保険担当係長、井澤保健事業係長
竹原国民健康保険担当主査 |
| 6 | 公開・非公開等の別 | 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開 |
| 7 | 傍聴者 | 0名 記者 0名 |
| 8 | 会議録作成年月日 | 令和元年10月9日 |

協議事項等

- | | |
|---|--|
| 1 | 開会(事務局) |
| 2 | あいさつ(小林健康こども未来部長) |
| 3 | 新委員及び事務局職員の紹介(春原課長、事務局職員は自己紹介) |
| 4 | 副会長の選出
・副会長に森田靖子委員を選出 |
| 5 | 会議録署名人の指名
・田畑会長から、渋沢委員と浅倉委員の2名を会議録署名人に指名 |
| 6 | 議事
(1) 上田市の国民健康保険についての説明 事務局:資料により説明
(2) 上田市の保健事業についての説明 事務局:資料により説明 |

質疑等

- 委員:資料13ページの国保税の収納率は改善傾向という評価だが、調定額に含まれない国保税減免者の被保険者総数に占める経年変化のデータがあれば教えてほしい。
- 事務局:平成30年度で震災減免が2件。10万以下。火災は3件26.4万。旧被扶養者減免は129件360万余で、年間200万円から300万円に推移している。
- 委員:特定健診について、人間ドックを受診した場合に全てのデータは把握できているのか。人間ドックの補助申請をしていない人で、どのくらいドックを受診しているか把握しているか。
- 事務局:人間ドックは補助金があり、データ提供が補助の条件となっているため、補助金の申請をした方については把握できていますが、補助金の申請をされない方でどのくらい人間ドックを受診されているかは把握する方法がありません。
- 委員:特定健診について、60歳から70歳の人たちがどういう職種なのか、職がないのか、その辺は把握しているか。60歳の時に受診した場合、次の年も受診しているか、国保を辞めていく人が多いのか、受けない人が多いのか。

事務局：国保として、それぞれの方がどのような職種かは把握できておりませんが、若い人は社会保険。60歳から65歳は、定年退職を迎えて国保に加入し、年金生活者が多いと推測しています。また、国保に加入している期間は把握できていない状況で、辞めていく人が多いのか、受診する人が少ないのかの分析については精査が必要と考えています。

委員：一人当たり医療費について、資料7ページと8ページの平成30年度の数値が異なっているが速報値と確定との違いということか。

事務局：数字の違いについてですが、資料8ページは県と比較するため県公表の資料を使用しています。7ページは平均値、年度末の数値を使用するなど数値の取り方が異なっている。最終的には数値は一致してくるのでご了解いただきたい。

委員：特定健診の受診券は、受診終了が1月末で2月から4月の受診が数字にでてこない。3月まで受診可能にできないか。

事務局：年度中に医療機関に支払いを行うためには、1月末までの受診とするのが事務処理上限界となっている。なお、人間ドックの受診については、いつ受けていただいても受診率に反映されません。

7 その他

(1) 国民健康保険制度の動向について

事務局：国民健康保険制度の動向について資料により説明

(2) 今後の開催日程について

事務局：今後の開催日程について資料により説明

質疑等はなし。

8 閉会（事務局）

- * 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。
- * 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。